

ねらい

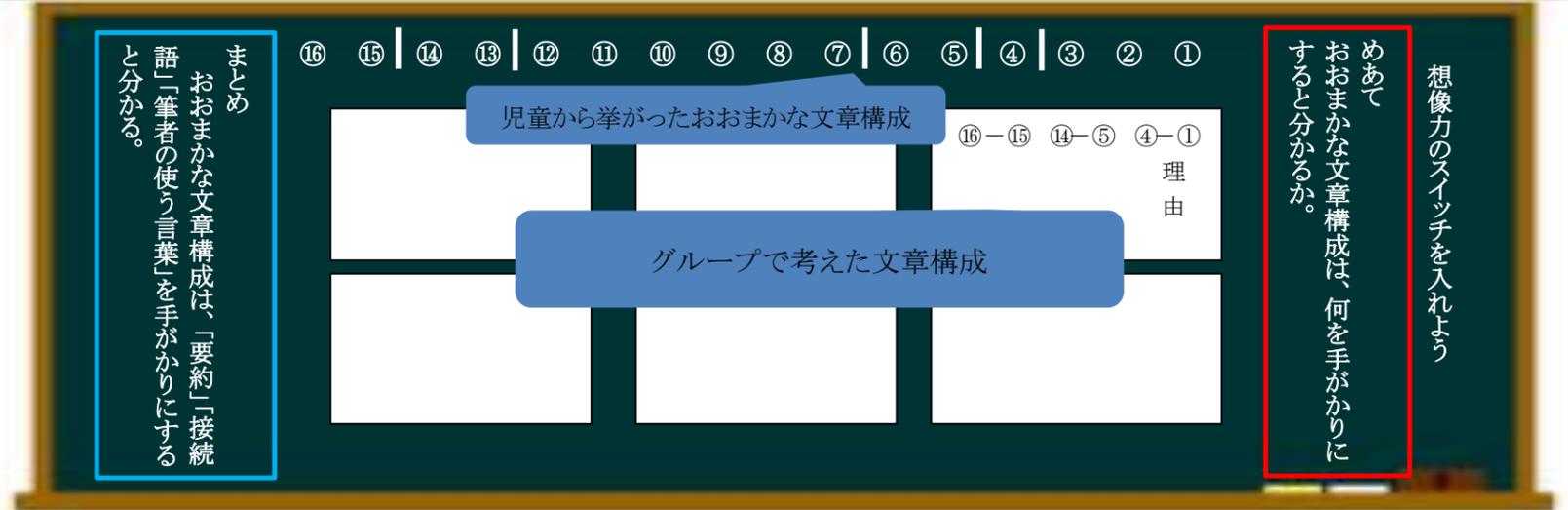
筆者の言葉の使い方や接続語、意味段落などに着目し、おおまかな構成を捉えて文章を読むことができる。

身に付けさせたいこと

筆者の使う言葉の移り変わりや接続語の使われ方、意味段落などに着目しながら、説明文のおおまかな構成を説明できる力。

表れてほしい児童の意識(姿)

筆者の使う言葉の移り変わりや接続語の使われ方、意味段落などに着目しながら、説明文のおおまかな構成を話したり記述したりしている。



授業の流れ

○主な発問

☆指導内容

・予想される児童の反応

□評価

学習課題を把握する 5分

- 既習事項を振り返る。  
○これまでの説明文の構成や特徴には、どのようなものがありましたか。  
・はじめ、中、終わりの3つの部分からできていた。  
・「問い」と「答え」が繰り返されていた。  
・「主張」は最後に書かれていた。  
・はじめに話題を示す部分があった。  
・文末の、「—が分かります」「—と考えています」などを見れば、事実か筆者の意見かが分かった。

- 本時の課題を把握し、めあてをもつ。  
○この文章はどこで3つ【はじめ・中・終わり】に分かれるか。また、その理由は？

(め) おおまかな文章構成は、文章の何を手がかりにするとわかるか。

☆既習の説明的文章の構成が3つの部分からできあがっていること、「要約」「主語」「接続語」「文末表現」など文章構成を考える際に必要な語句を簡単に振り返る。

個別に課題を追究する 5分

- 課題を追求する。  
・要約から意味段落をつくり、3つに分けた。  
・【中】の事例で言いたいことが4つあることは、接続語や筆者が使う言葉から分かった。  
・「このような」と書かれているから、前の段落とつながっていると考えた。  
・事例1と事例2で話が変わっていると思ったから、そこで分けられると思う。  
・①②③④⑤⑥/⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭/⑮⑯  
・①②③④/⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭/⑮⑯  
・①②③④⑤⑥/⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬/⑭⑮⑯  
・①②③④/⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬/⑭⑮⑯

☆「はじめ」「中」「おわり」の3つの部分の構成であることを伝え、事前に3つの部分に分けておくように指導することで、この後の集団討議の時間を確保する。

☆それぞれの部分を区切る時に何を手がかりにしたか考えさせることで、解決への見通しをもたせる。

☆意味のまとまり(切り離してはいけない段落)を考えるよう指導することで、文章の内容を踏まえて「はじめ」「中」「おわり」の構成を考える事につなげる。

☆進まない児童には、「要約」や「接続語」に着目して説明するよう助言する。

考えを発表し、全体で比較・検討する 27分

- それぞれの理由をもとに、おおまかな文章構成を考える。(グループ10分→全体12分)  
○このような文章構成になっていると考えた理由はなんですか。  
・「想像力のスイッチ」という言葉が初めてでてくるのが⑥だから、その前までは、ひとまとまりだと思う。  
・中のまとまりは、接続語から考えることができる。  
・「想像力のスイッチ」の入れ方や大切さを話している部分を中心だと思ったので、中を⑦～⑭で分けた。  
・終わりの部分は使っている言葉に着目すると⑭までの「報道」から、⑯⑰は「メディア」や「あなた」に変わるから、分かれ目だと思った。  
・⑭に「この報道」とあるので、話が続いているから⑬とは分かれぬい。  
・⑤に「例えば」とあるので、④と⑤は区切れない。
- 文章構成を考える際に手がかりにした部分について、整理する。(5分)  
・「要約」  
・「接続語」  
・「筆者の使う言葉の変化」

☆グループで話し合うことで、自分の考えを伝える場を設定する。  
☆全体での話し合いでは、同様の考え方・類型化をするとともに、他者説明を取り入れながら、共通点、相違点を比較しながら捉えられるような問い直しや言葉がけを行う。

☆挙げた文章構成の考え方から共通点を見つけられるように、意見を整理することで、児童の言葉でまとめができるようにする。

☆読者の使う言葉や接続語、意味段落などから、おおまかな文章構成を捉えて文章を読んでいる。

(ノート・発言)

学習のまとめをし、振り返りをする 8分

- 文章構成をつくる時に手がかりとなるものについてまとめる。(5分)  
○この説明文のおおまかな構成は何を手がかりにすればよいのでしょうか？まとめましょう。

(ま) おおまかな文章構成は、「要約」「接続語」「筆者の使う言葉」を手がかりにすると分かる。

- 本時の振り返りを行う。(3分)  
○この学習で分かったこと、友達の説明からなるほどと思ったことを振り返ってみよう。  
・筆者の使う言葉に着目すると文章構成が大体分かる。  
・接続語に着目すると段落の関係や、まとまりが分かり、文章構成が捉えやすい。  
・要約を使うと文章構成が分かる。

☆分類した文章構成の手がかりを使って児童にまとめさせ、板書する。

☆文章構成が1つにまとまらなかった場合、本時の手がかりをもとにして、次時に細かく見ていくことを伝え、本時は文章構成を考えるポイントを学習する時間であることを指導する。

☆リフレクションカードを使って、本時の学習でわかったこと、友達の説明から「なるほど」と感じたことを振り返るように促す。